

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

法人税法に規定する定額法を採用しております。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
土地	309,213,840	0	0	309,213,840
建物	568,256,069	0	12,466,312	555,789,757
建物附属設備	85,621,999	0	8,013,132	77,608,867
構築物	12,854,661	0	1,213,605	11,641,056
小 計	975,946,569	0	21,693,049	954,253,520
特定資産				
投資有価証券	20,000,000	20,000,000	0	40,000,000
定期預金	0	0	0	0
預敷金引当資産	0	0	0	0
預保証金引当資産	3,200,000	0	0	3,200,000
小 計	23,200,000	20,000,000	0	43,200,000
合 計	999,146,569	20,000,000	21,693,049	997,453,520

(注) 建物及び建物附属設備の当期減少額は、税務指導のためと減価償却費と残存金額と

(注)

3. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりです。

科 目	取 得 価 額	減価償却累計額	当期末残高
建物	623,315,613	67,525,856	555,789,757
建物付属設備	120,960,634	43,351,767	77,608,867
構築物	18,113,531	6,472,475	11,641,056
什器備品	11,955,350	6,990,377	4,964,973
リース資産	4,352,880	3,188,640	1,164,240
ソフトウェア	0	0	0
合 計	778,698,008	127,529,115	651,168,893

4. 次期繰越収支差額の内容は、次のとおりです。
(単位：円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現金預金	105,250,362	105,223,338
その他資産	10,000	20,000
前払費用	0	0
未収入金	185,000	1,024,100
仮払金	0	0
合 計	105,445,362	106,267,438
未払金	510,404	483,435
未払金消費税	1,527,900	2,117,200
リース未払金	901,560	1,207,800
預り金	356,911	513,815
前受金	1,254,000	1,254,000
	0	0
合 計	4,550,775	5,576,250
差引： 次期繰越収支差額	100,894,587	100,691,188

基本財産

期首貸借対照表との照合	差異	0
期末貸借対照表との照合	差異	0

特定資産

期首貸借対照表との照合	差異	0
期末貸借対照表との照合	差異	0

である。

期末簿価	貸借対照表との照合	
建物	差異	0
附属設備	差異	0
構築物	差異	0
什器備品	差異	0
リース資産	差異	0
ソフトウェア	差異	0

次期繰越収支差額チェック

収支計算書との照合

前期末差異	100,894,587
今期末差異	83,053,787